



しろくまだより

— 温暖化で絶滅の危機『しろくま』を救え in やつしろし —

編集/発行 2013.1.25 八代市環境課 TEL33-4114

《今回の記事》

- ・紙類は「資源の日」に出しましょう
- ・2月は「省エネルギー月間」です
- ・犬を飼っているみなさまへ

『ごみ非常事態宣言』継続中

いよいよ寒さも本格的になってきました。冬は一年で最もエネルギーを使う季節です。無駄なく効率的にエネルギーを使うことで、地球にも家計にもやさしい暮らしを实践しましょう。

紙類は「資源の日」に出しましょう

私たちの周りには、段ボール、コピー用紙、雑誌、新聞、紙パックなどいろいろな紙製品があります。紙は私たちの生活になくてはならないものですし、さまざまな用途で使われ、その消費量も増えています。限りある資源を有効に利用するためには、リサイクル（再生利用）はとても重要です。

本市のごみ出しルールでは、紙類は「資源の日」に排出することになっていますが、平成23年度に市が行った調査によると、家庭から出される「燃えるごみ」の約11%がリサイクル対象の紙類でした。

簡単に「燃えるごみ」として捨てずに、きちんと分別し、「資源の日」に出していただければ、紙は再生紙として生まれ変わることができます。

紙のリサイクルは、ごみの減量化になるだけでなく、木材資源の有効利用や省エネルギーにもつながります。みなさんのご協力をお願いします。



ワンポイントアドバイス

- ・商品の包装紙、コピー用紙、はがき、カタログなどは、「雑誌・雑紙」として出せます。
- ・小さい紙類を「資源の日」まで保管しておくのは手間がかかる、といった話を耳にしますが、紙袋や使用済みの封筒にまとめておくと、そのまま出すことができます。
- ・はがきなどの人にあまり見られたくないものについては、雑誌に挟んでひもでしばって出すと、人目につくことなく出すことができます。

■注意してもらいたいこと■



カーボン紙（複写用紙）、感熱紙（FAX用紙、レシートなど）、感光紙（青焼きコピー紙など）、圧着ハガキなどは「燃えるごみ」です。リサイクルすることができません。これらの紙が混ざっていると、再生原料として受け取ってもらえない場合があります。分別にご協力ください。

※衛生用品として使用されたものは「燃えるごみ」で出してください。

2月は「省エネルギー月間」です

地球温暖化の原因である二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスは、主に電気、灯油、ガスなどのエネルギーを使うことによって排出されます。地球温暖化をストップをするためには、CO₂を減らす、つまりエネルギーの使用量を減らさなければなりません。

特に冬季は、暖房に多くの電気や灯油などを使用するため、年間を通してエネルギー使用量が最大になります。一人ひとりが問題意識を持って、できることから省エネに取り組みましょう。



- ・過剰な暖房（エアコン）使用はやめましょう。室温は20℃を目安に！
- ・テレビや照明などのつけっぱなしに注意しましょう。
- ・お風呂は続けて入り、シャワーはこまめに止めましょう。

犬を飼っているみなさまへ

★飼い主の当然のマナーとして、散歩中の「ふん」の持ち帰りの徹底をお願いします。

周辺の方に大変迷惑をかけます。「ふん」の放置は絶対にやめましょう。

★飼い犬の死亡や住所変更には届出が必要です。下記の窓口へご連絡ください。

そのほか、

- ・飼い犬は登録が必要です。下記の窓口や委託動物病院で手続きを行ってください。
- ・飼い犬は年1回の狂犬病予防注射が必要です。
最寄りの動物病院で行うか、4月に各地域で実施される集合注射をご利用ください。
- ・飼い主は「命あるものを飼うという自覚を持ち、その命に対して最後まで責任を持つ」という「終生飼養」の意識を強く持ちましょう。

【お問合せ窓口】

市役所環境課	33-4114	千丁支所市民福祉課	46-1101
鏡支所市民環境課	52-1115	坂本支所市民福祉課	45-2212
泉支所市民福祉課	67-2176	東陽支所市民福祉課	65-2111



ネズミの駆除剤配布について

市では12月から3月にかけて一般家庭用の殺鼠剤を配布しています。
必要な方は印鑑持参のうえ、配布場所でお受け取りください。

配布場所	市役所環境課・各支所市民福祉課（鏡支所については市民環境課） または最寄りの各出張所・公立公民館
配布期間	平成25年3月29日（金）まで
配布数	各家庭3袋まで（1袋50g入）
お問合せ先	上記の窓口へご連絡ください



2月3日（日）、3月3日（日）は『やつしろ環境の日』です

八代市では、毎月第1日曜日を『やつしろ環境の日』、『やつしろ健康の日』としています。地球が喜ぶ生活をおくること（CO₂ダイエット）は、私たちの体も喜ぶ生活（体重ダイエット）につながります。通勤やご近所への買い物時には自転車を利用してみるなど、環境や健康面を考えたライフスタイルに変えていきましょう。

